

森美術館館長 南條史生 フランス共和国「芸術文化勲章」受章

このたび、森美術館館長 南條史生は、フランス共和国より「芸術文化勲章オフィシエ」に叙され、6月27日（月）に叙勲式が行われました。ポール＝ベルラン・バレッツ在日フランス大使館臨時代理大使は叙勲理由について、「昨年森美術館で開催された『シンプルなかたち展：美はどこからくるのか』をはじめ、多数の独創的な展覧会、パブリックアート計画を通して、長年フランス現代美術の紹介を続けてきたことを評価したものです。しかしそのみならず、日本のアートシーンの国際化に奔走し、芸術文化交流に多大なる貢献をされました。南條氏によって、欧米の美術界は、西洋ではない視点を発見することになりました。」と述べました。

なお、南條が企画を手掛け、在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセの助成により2016年7月30日（土）から2017年1月9日（月・祝）まで開催する「宇宙と芸術展：かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ」においても、フランス人アーティスト4名（ジュール・ド・バラクルール、ヴァンサン・フルニエ、ローラン・グラッソ、ピエール・ユイグ）の作品を紹介します。是非、ご期待ください。



撮影：御厨慎一郎

芸術文化勲章オフィシエ

芸術文化勲章は1957年に創設され、芸術ならびに文学の分野で卓越した創造活動を行なった者、もしくはフランスおよび世界において藝術と文学の発展に著しく貢献した者にフランス共和国文化省より授与される勲章で、シュヴァリエ、オフィシエ、コマンドゥールの3つの等級がある。日本の美術界からはこれまで、梅原龍三郎（1973年、コマンドゥール）、荒川修作（1986年、シュヴァリエ）、草間彌生（2003年、オフィシエ）、杉本博司（2013年、オフィシエ）等が受勲している。

南條 史生（なんじょう ふみお）

森美術館館長。1949年東京生まれ。1972年慶應義塾大学経済学部、1976年文学部哲学科美学美術史学専攻卒業。国際交流基金、森美術館副館長などを経て2006年11月より現職。1997年ヴェネチア・ビエンナーレ日本館コミッショナー、1998年台北ビエンナーレ コミッショナー、ターナー賞（英国）審査委員、2000年シドニー・ビエンナーレ国際選考委員、ハノーバー国際博覧会日本館展示専門家、2001年横浜トリエンナーレ2001アーティストティック・ディレクター、2002年サンパウロ・ビエンナーレ東京部門キュレーター、2005年ヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞国別展示審査員、2006年及び2008年シンガポールビエンナーレ アーティストティック・ディレクター等を歴任。フランスとの係わりとしては、1986年「大地の魔術師展」（ボンビドー・センター国立近代美術館、パリ）での企画協力、新宿アイランドや六本木ヒルズなどのパブリックアート計画におけるフランス人アーティスト作品の選定・監修など。2007年、これまでの美術を通じた国際交流の功績に対し外務大臣表彰を受賞。近著に「アートを生きる」（角川書店、2012年）がある。



撮影：名和真紀子

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum
〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

● 南條史生による最新企画展

宇宙と芸術展：かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ

会期：2016年7月30日(金)-2017年1月9日(月・祝)

会場：森美術館(六本木ヒルズ森タワー53階)

宇宙は古来、人間にとって最大の関心事であり、また信仰と研究の対象として世界各地の芸術の中で表現され、多くの物語を生みだしてきました。本展では、レオナルド・ダ・ヴィンチやガリレオ・ガリレイの天文学手稿、貴重な天文・科学の初版本、曼荼羅や日本最古のSF小説ともいえる「竹取物語」の絵巻、そして現代アーティストによるインスタレーションや宇宙開発の最前線に至るまで、古今東西ジャンルを超えた多様な出展物約200点を一挙公開。「人は宇宙をどう見てきたか?」、「宇宙という時空間」、「新しい生命観—宇宙人はいるのか?」、「宇宙旅行と人間の未来」の4つのセクションを通して、未来に向かっての新たな宇宙観、人間観を提示することを試みます。



ヴァンサン・フルニエ
《火星砂漠研究基地 #11、火星協会、サン・ラファエル・スウェル、ユタ州、アメリカ、2008年》
2008年
Cプリント60×80 cm
作家蔵



ジュール・ド・バランクール
《コズミック・カオス》
2015年
油彩、パネル
152.4×177.8×5.1cm
Courtesy: Galerie Thaddaeus Ropac, Paris/
Salzburg

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

● 森美術館で開催したフランス関連の展覧会

アーキラボ: 建築・都市・アートの新たな実験展 1950-2005

サントル地域現代芸術振興基金とボンピドゥー・センターの建築コレクションを中心に約90名の建築家の理論と実践を紹介する、日本最大級の建築展

会期: 2004年12月21日(火)~2005年3月13日(日) 入館者数: 335,617名

ル・コルビュジエ展: 建築とアート、その創造の軌跡

20世紀最大の建築家、ル・コルビュジエの生誕120年を記念し、「絵画と建築」を通して多彩な業績を紹介、その創造性に迫る回顧展。

会期: 2007年5月26日(土)~9月24日(月・祝) 入館者数: 593,711名

アネット・メサジェ: 聖と俗の使者たち

フランスを代表する女性アーティスト、アネット・メサジェを紹介する日本初の大規模個展。

会期: 2008年8月9日(土)~11月3日(月・祝) 入館者数: 420,067名

フレンチ・ウィンドウ展: デュシャン賞にみるフランス現代美術の最前線

フランスで最も権威ある現代美術コレクターの団体「ADIAF」が主催する「マルセル・デュシャン賞」の10周年を記念し、マルセル・デュシャンと同賞のグランプリ受賞作家ら28名の作品を一挙に公開。

会期: 2011年3月26日(土)~8月28日(日) 入館者数: 425,240名

シンプルなかたち展: 美はどこからくるのか

先史時代の石器から現代アートまで、時代やジャンルを越え、世界各地から集められた「シンプルなかたち」を紹介。ボンピドゥー・センター・メス、エルメス財団との共同企画展。

会期: 2015年4月25日(土)~7月5日(日) 入館者数: 360,902名

● フランスへ巡回した森美術館企画の展覧会

日本美術が笑う: 縄文から20世紀初頭まで

美術のなかにある「笑い」や「ユーモア」を同時開催の「笑い展」とともに模索する展覧会。日本の古美術のみで構成し、多様な日本の笑いを5つのテーマに分けて紹介。

会期: 2007年1月27日(土)~5月6日(日) 入館者数: 348,367名(「笑い展」と共通)

【巡回展】

笑いの日本美術史 縄文から19世紀まで

会場: パリ日本文化会館(フランス) 会期: 2012年10月3日(水)~12月15日(土)

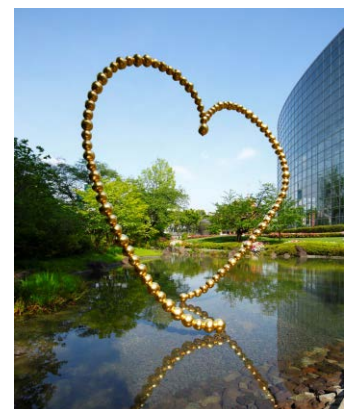
主催: 国際交流基金、パリ日本文化会館、パリ日本文化会館支援協会

企画協力: 森美術館

● 六本木ヒルズパブリックアート

2013年、六本木ヒルズ・森美術館の10周年を記念して、六本木ヒルズ内の歴史ある毛利庭園の池にフランスのアーティスト、ジャン=ミシェル・オトニエルの彫刻作品《Kin no Kokoro》を設置。

ジャン=ミシェル・オトニエル 《Kin no Kokoro》 2013年
ブロンズ、金箔、ステンレス鋼
330×360×169cm
Courtesy: Galerie Perrotin, Hong Kong and Paris
撮影: 木奥恵三



プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報: 瀧

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館